

# 前期学校評価の集計結果から

7月、1学期終了時に実施しました前期の学校評価アンケート集計結果から分かること等紹介いたします。

今年度は、学校を外から評価するだけでなく、それぞれが子どもを育成する当事者としての質問が増えております。

今回の結果をもとに、2学期の以降見直しや改善等進めていきたいと思っております。

※ 集計結果の全容については、  
別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

## 【学校に関わること】

- 阿武町小中3校で共通育てたい心や力「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」を日頃の授業から教師も子どもも意識できてきた。
- 「主体性」をのばす面から、子どもたちにチャレンジ目標を話し合いで決めさせ、意識化させることでやさしさ、きれいさ、じかんいっぱい等の面において主体的な取組（あいさつ、授業開始時刻に始めるよう準備する等）が見られるようになった。
- 重点取組事項への意識の共有、授業改善（タブレットの活用等）・学力向上に向けた取組は高く評価していただいている。
- 外遊びや体力づくりの意識が向上した。（学校保健安全委員会の親子熟議の成果）

- 子どもたちの言葉遣い（大人がみてない時）・挨拶（する子としない子の差）や落ち着きのなさが気になる。

↓

- \* 教員や学校に来られる地域の方に対しては、あいさつ・言葉遣いは良い反面、学校を離れた場面では良くない言葉遣いなどをしてしまう子どもが見られる。この現状に対して、どのような指導・声かけを三者でしていけばよいか。

## 【家庭に関わること】

- 学校の行事への参加、学校からの情報発信をしっかりと目を通し、学校と協働で子どもたちの育成に関わっている。
- 子どもたちの学校での様子などについてしっかりと話を聞き、担任と信頼関係を構築しながら子育てしている。

- 出された宿題はできていることが多いが、家庭学習の習慣（学年×10分+10分）は十分ではない。
- 家庭における「きづく」「きめる」「かかわる」「やりぬく」をどう子どもたちさせるか？

↓

- \* 家庭学習の時間を中心に、子どもたちに4つの力と心を意識させるためにどのような支援をしていくか。

## 【地域に関わること】

- 地域の方とのふれ合いを通して、ふるさと福賀のよさを感じている。（児童全員「はい」と答えている。）
- 「主体性と表現力の育成をチーム福賀で」という重点取組事項が浸透している。様々な面で学校運営を支援していただいている。
- 「チーム福賀」の一員として、学校、家庭と協働しながら子どもたちに関わっていただいている。

- 授業の様子や学力向上の取組、いじめへの対応など学校の取組を目にする機会が少ない。

↓

- \* もっと地域の方が学校の様子を見に来やすくするために、どんな活動を仕組んでいくか。